

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 3 年 4 月 14 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 ひらしまけんこうふくいいんかい
平島健康福祉委員会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	平島・元気で輝き事業
事業実施区域 (小学校区)	平島小学校区
① 事業実施内容	地域での支えあいの仕組み作りを目指し、特に高齢者などが元気で社会参加ができ活躍できるよう以下の事業を実施。 ・ちょっとした困りごとをお手伝いする「生活支援サービスの提供」。 ・歩いて行けるとところに寄り合いの場「井戸端カフェ」を2か所で定期開催。 ・健康や福祉に関する「研修会」や「介護予防教室」を毎週開催。 ・地域情報のニュースを発刊し全戸配布。 ・ZOOM導入によるミーティング開催。 <添付資料> ※生活支援サービス提供現場や研修会および介護予防教室の写真。 ※HKFニュース15号。 ※“げんきさんとほがらかさん”掲載記事。
② 解決を目指した課題	① 介護保険ではまかなえないインフォーマル・サービスの構築。 ② 各事業を実施することで以下の項目の課題解決。 ・高齢者などの自立支援に資する地域の環境づくり。 ・高齢者のフレイル予防、認知症予防。 ・様々なふれあいの場を通して顔の見える関係づくり。 ③ コロナ禍でのコミュニケーションづくり。 ・ZOOM研修会を実施しリモートミーティングの実現。

③ 目的・目標の達成状況	新型コロナウイルス感染予防のため、活動の内容によっては影響のあったものもあるが、全体的には当初計画していたもののほぼ70%は実施できたように思う。 一番残念だったことは「三世代交流・ふれあいサタデー」を1度も開催することができなかったことである。コロナが落ち着けば来年度、再度チャレンジしたいと考えている。 「生活支援サービス」は基本、訪問サービスのため主に屋外作業中心だったが、約30件の実績であった。リピーターに加え、新しい利用者也少数だが、地の町内会から出てきているのは今後へ向けて楽しみである。 「井戸端カフェ」では「南古都」は今まで通りであり変化はなかった。「東平島」では開催場所を平島コミュニティハウスへ変更してから、新しい利用者が増え続けている。 「研修会」では12月に出席研修を開催した砂場町内会で、この度新しく定期的な集いの場ができたことが評価できる。「介護予防教室」は4月～5月の2か月間だけはコロナで休んだが、それ以外は開催しており参加者も徐々に増えてきている。 「HKFニュース」は2回の発刊であったが、特にイベント開催などで「HKFニュースで記事を見たから来たよ」という声も聞かれ、徐々にではあるが効果が見られている。 ZOOM導入によるミーティング開催は、研修会を数回行い平島学区と瀬戸町の江西学区との交流が定期的に開催されている。来年度はHKFの定例会をZOOMで開催したいと考えている。
④ 企画等の工夫と情報公開	※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。 ① コロナ禍で不活発病やうつ病などが起こらないよう、感染防止のための対策を厳重に行いながら、事業毎に工夫を凝らし実施。 ・介護予防教室では、参加者全員で「コロナには負けない体づくり」を強く意識しながら、できるだけ笑顔で楽しめるプログラム内容を実施。 ・「井戸端カフェ」では、とにかく気が緩み密になる傾向があったため、しつこいぐらいに厳重な注意喚起を行いながら実施。 ・「生活支援サービス」では、提供するサービス内容によっては依頼者と十分話し合いを行いながら、両者が納得する形で実施。 ② 会員のモチベーションと前向き思考の維持のため、他地域との交流を実施。 ・9月14日、瀬戸町の「助け合うお母さんの会」と意見交換を行い、今後連携できる可能性のある活動を模索する。 ・10月26日、中区富山地区の「とみやまたすけあい隊」と行い、同じような課題を抱えながらも、お互いに頑張っている姿をしっかりと確認することで元気をもらうことができた。 ③ 定例会議をZOOMで開催するためにZOOM研修会を企画実施。

⑤ 次年度計画	① 10～20年先を見通して、会の運営システム全体を見直す。 ・会員がプレッシャーなどを感じずに、自分ができる活動を自由に選択し、自分の動ける時間に気軽にできるようにする。 ・活動をした人に対して若干でもサポート費を支払う。 ② 現在の課題を再評価するために5年ぶりにアンケート調査を実施。 ・アンケート対象者を高齢者などに限らずに幅広い年齢層に対して実施する。 ・現在実施されている各事業を柱にしながらも新しい課題を探りその解決を図る。 ・小地域ケア会議と連携しながら進めていく。 ③ 支えあいのチーム同士の向上のために他地区との交流を積極的に行う。 ・例えば同じような「生活支援サービスの提供」を実施しているチームが集まり、交流を通して多様な活動を学ぶとともに、HKFにも活かしていく。 ・可能であれば2～3年先に岡山市全体でフォーラムみたいなイベントを実現できればと思っている。 ④ 定例会をZOOM会議で行う。
⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	・コロナ禍においても逃げることなく、強い意志をもって各事業を積極的に実施することができたと確信している。 ・今後の活動の継続に向けて、担い手が出やすい環境づくりを図っているが、正直なかなか難しい状況だ。 ・審査会からのコメントはどれもHKFの活動を評価していただき、期待をされていることからこの1年間も頑張ることができたと思っている 今後も引き続き他地区のモデルとなれるよう、ステップアップしながら、一つずつ積み重ねていきたいと考えている。 ・解決が大変難しい問題だが取り組む必要がある。高齢者の福祉について各地区必要性を感じている。今後の発展を期待している。 ・高齢化が急速に進む東区でいち早くこの課題に取り組み、成果を上げていることに敬意を表したい。 ・近隣の方とのきめ細かい情報共有やつながりの大切さ、地域とともに支えあう仕組みは本当に大切なことと感じる。どこの地区でも誰に頼るでもなく、自分たちでやっていくべきだと思う。 ・これからの社会に必要な課題解決であり、継続させて他地域に伝えられるモデルを作ってほしい。(同意見多数) コロナ禍である意味厳しい状況ではあったが、審査会の意見を励みに今だからこそできることは何かを考え、ZOOMを導入した。成果として瀬戸町の江西学区と情報交流の場が毎週1回定期的に開催できていること。 助言等の内容について、事業へ反映できましたか。 I できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった V 改善意見がなかった

⑧事業実施経過

HKF 令和 2 年度活動実績

令和 3 年 3 月 31 日

月日	場所	内容/担当チーム
4/1～4/30	平島学区	生活支援サービス(B 班)
4 月 24 日	平島コミュニティ	第 49 回小地域ケア会議
4 月 25 日	旧木庭氏店舗跡	総会
5/1～5/31	平島学区	生活支援サービス(A 班)
5 月 23 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
6/1～6/30	平島学区	生活支援サービス(B 班)
6 月 13 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
6 月 27 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)/定例会
7/1～7/31	平島学区	生活支援サービス(A 班)
7 月 11 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
7 月 17 日	平島コミュニティ	第 50 回記念大会・小地域ケア会議
7 月 25 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
7 月 27 日	慈眼寺	視察研修(お寺カフェ)
8/1～8/31	平島学区	生活支援サービス(B 班)
8 月 6 日	平島学区	HKF14 号発刊
8 月 8 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
8 月 22 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)
8 月 30 日	旧木庭氏店舗跡	定例会
9/1～9/30	平島学区	生活支援サービス(A 班)
9 月 5 日	平島コミュニティ	第 27 回平島健康福祉研修会
9 月 12 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
9 月 14 日	平島コミュニティ	HKF/助け合うお母さんの会との意見交換会
9 月 26 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)/定例会
10/1～10/31	平島学区	生活支援サービス(B 班)
10 月 10 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
10 月 23 日	西大寺公民館	生活支援サポーター養成講座説明
10 月 23 日	平島コミュニティ	第 51 回小地域ケア会議
10 月 24 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B 班)/定例会
10 月 24 日	平島コミュニティ	第 1 回 ZOOM 研修会
10 月 26 日	富山公民館	視察研修(とみやま助け合い隊との交流会)
11/1～11/30	平島学区	生活支援サービス(A 班)
11 月 14 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B 班)
11 月 14 日	ニュー平島団地集会場	第 2 回 ZOOM 研修会
11 月 21 日	ニュー平島団地集会場	第 3 回 ZOOM 研修会
11 月 22 日	富山学区	視察研修(意見交換会)
11 月 25 日	西大寺ふれあい	東区地域ケア連携会議
11 月 28 日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A 班)
12/1～12/31	平島学区	生活支援サービス(B 班)
12 月 5 日	砂場公会堂	第 28 回平島健康福祉研修会
12 月 5 日	ニュー平島団地集会場	第 4 回 ZOOM 研修会
12 月 12 日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A 班)
12 月 19 日	瀬戸公民館	クリスマス会共催で支援活動
12 月 24 日	南区西公民館	生活支援サポーター養成講座説明

12月26日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)
1/1~1/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
1月9日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
1月16日	ニュー平島団地集会場	第4回ZOOM研修会
1月22日	平島コミュニティ	第52回小地域ケア会議
1月23日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
2/1~2/29	平島学区	生活支援サービス(B班)
2月4日	南区南公民館	生活支援サポーター養成講座説明
2月13日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(A班)
2月23日	東区城東台西集会場	生活支援サポーター養成講座説明
2月27日	木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
3/1~3/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
3月6日	平島コミュニティ	第29回平島健康福祉研修会
3月13日	平島コミュニティ	井戸端カフェ東平島(B班)
3月20日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)

<項目別実績>

- ・生活支援サービス利用総件数:28件
- ・井戸端カフェ延べ参加者数
 - ①井戸端カフェ・東平島:160名
 - ②井戸端カフェ・南古都:80名
- ・ふれあいサタデー・元気で輝き体操(毎週土曜日)延べ参加者数:約750名
※4/4~5/16はコロナ感染予防のため休止とした
- ・HKF研修会延べ出席者数:62名(9/7:35名、12/5:15名、3/6:30名)

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	147,500	83,600	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	42,500	18,000	会費
参加者負担金	30,000	37,900	チケット、カフェ参加費
協賛金	50,000	20,000	社協他協賛金
寄付、他収入	25,000	7,724	研修会参加費
計	295,000	167,224	

◆ 支 出

単位:円

③印刷製本費	30,000	14,770	印刷費
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	60,000	36,557	携帯電話代、切手代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料	30,000	23,700	会場費
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	15,000	14,000	講師謝礼
⑭保険料	20,000	0	ボランティア保険料
⑮視察研修費	80,000	16,805	視察研修参加費、その他
⑯その他			
計	295,000	167,224	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。